

国語表現 I

(017教出・国 I 009・国語表現 I)

レポート提出回数 **6** 単位数 **2**

必要面接時数 **2**

1. 学習の到達目標と取り組み

目標	国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。
目標に向けての具体的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを論理的に述べたり、相手の考えを尊重する。 情報を収集、整理し、正確かつ簡潔に伝える文章にまとめる。 目的や場に応じて、表現を工夫する。 様々な表現についてその効果を吟味し、自分の表現に役立てる。 語句や語彙の成り立ち及び言語の役割について理解を深める。

2. 年間学習計画と評価方法

月	内容のまとめ	主な学習目標と学習活動	単元・題材	レポート		スクーリング	Aテスト日と範囲	評価方法
				回数	期限			
4月 5月	表現における基本的な技術を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 「読む・書く・聞く・話す」ための最も基本的な技術を練習する。 声を出すための基本から始めて、わかりやすい話し方の基本を学ぶ。 	1. ことばに変える 2. 声の表現	No.1	5/20	5/19	第1回 7/21 レポート No.1・2	レポート・テスト・面接授業等での活動意欲。
6月 7月	短い文章をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 原稿用紙を使わないで、短い文章を作る。人が読みたくなるような、内容や表現に工夫を加える。 	3. コラムを書く、本を作る	No.2	7/8	7/7		
8月 9月	ことばに工夫を加える	<ul style="list-style-type: none"> ことば遊びと創作のテクニックを、諺・四字熟語のパロディーや川柳、アクロスティックから学ぶ。 ことばの性質やことばと人間とのかかわり、敬語について学ぶ。 	4. 言葉遊びと創作 5. ことばと人間	No.3	8/26	8/25	第2回 10/20 レポート No.3・4	レポート・テスト・面接授業等での活動意欲。
10月	筋道を立て、客観的に述べる	<ul style="list-style-type: none"> 考え方の違う相手を説得するような、言いたいことを筋道立てて述べる文章作りの技術を学ぶ。 レポートと小論文の違いを知り、執筆作成までの手順を学ぶ。 	6. 小論文・レポートを書く	No.4	10/20			
11月 12月	他者あるいは自己との対話をする	<ul style="list-style-type: none"> 会話、会議、発表の実際について学ぶ。 「自分」を主題にした文章を作ることを通して自分自身を見つめる。 	7. 会話・会議・発表 8. 自己との対話	No.5	12/2	12/1	第3回 2/16 レポート No.5・6	レポート・テスト・面接授業等での活動意欲。
1月 2月	その場に応じた言葉を選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> 手紙の形式や面接の技法を知り、自分のことを他者に適切に伝える技術を学ぶ。 パーソナル・コンピュータによる情報収集および読み書きの道具としての機能を知る。 	9. 世界との対話 10. 情報の海を航海する	No.6	1/19	1/5		

3. 評価の観点

評価の観点	観 点 の 内 容
関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、進んで表現したり、伝え合おうとする。
話す・聞く能力	自分の考えをまとめ目的や場面にに応じて話したり、的確に聞き取ったりする。
書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的に応じ筋道立てて適切に文章を書く。
読む能力	目的に応じてさまざまな文章を的確に読み取り、自分の考え方や感じ方を深める。
知識・理解	表現と理解に役立てるためのさまざまな知識を身につける。